

(三) 規範意識に関する指導

実践事例【小学校第二学年】

みんなのことを考えて〔内容項目 C 規則の尊重〕

◆教材名「あぶら山」

出典…「読み物資料とその利用」―主として集団や社会とのかかわりに関すること 文部省

平成六年

〈ねらいとする道徳的価値について〉

約束やきまりは、集団生活を円滑に送るためにつくられたものであるが、時には、個人の都合や利益と対立することがある。しかし、集団の成員が約束やきまりを守らなければ、個人も平穏な生活を送ることはできない。社会生活を送っていく上で、約束やきまりを守ることは大切である。

本教材では、約束を分かっているながら自分の弱い心に負けてしまった一平や、一平の行動を責めながらも同じことをしてしまったじいさまやばあさまの心情と自分自身の体験を重ね合せて考えることができる。「だめなことだ。」と分かっているても、約

束やきまりを守らない人がいるのを目の前にすると、ずるいと思ってしまうたり、「他の人もやっているから。」「誰も見ていないから。」といった独りよがりな理由で約束やきまりを破ってしまったりすることもあるだろう。自分だけではなく、周りの人たちも同じように気持ちよく生活するためには、どのような行動が求められ、何をしなければいけないのかを人に言われてできるのではなく、その都度自分で状況を判断し行動できることが大切である。そこで本時では、自分勝手な行動は、社会生活を乱して取り返しがつかなくなることとを理解させるとともに、「だめなことはだめだ。」という強い気持ちををもって行動することの大切さを捉えさせる。

#### ◆ねらい

みんなが安心して生活するためには、自己中心的な気持ちで行動するのではなく、一人一人の誰もがきまりを守ることが大切であることが分かり、自らも進んできまりを守ろうとする態度を育む。

◆ 指導展開例

一 「身の回りにある約束やきまり」について、児童一人一人が考えをもつ。

【教師】 皆さん、家での約束はありますか。学校にはきまりがありますね、家や学校の他の所では約束やきまりはあるでしょうか。どんな約束やきまりがあるか、思い出してください。どうですか。廊下は右側を歩く。図書室では静かにする。これは学校のきまりですね。赤信号は渡らない。道や公園にごみを落とさない。これは家や学校の他でのきまりですね。家での約束はありますか。出かけるときは行き先を伝える。他にもたくさん約束やきまりがありそうですね。

今日は、「あぶら山」という読み物を読んで、約束やきまりを守ることにについて深く考えていきましよう。

(黒板に教材名を書き、教材を配布する)

二 教材「あぶら山」を読んで話し合う。

【教師】 それでは、お話を読みます。(範読する)

【教師】 おかしむかしの話でした。電燈のなかった昔はこのように、ろうそくの芯のようなものにあぶらに浸してあかりをとっていました。この絵のように、この細い炎が唯一のあかりだったのでですね。(挿絵を提示する)

このあかりを灯すためのあぶらが、あぶら山という小さな山から「ちろちろ」と流れ出ていました。(挿絵を提示する)「ちろちろ」とはどんな様子で流れているのでしょうか。そうですね。あぶらが細く、少しずつ少しずつ流れているのですね。むらの人たちは、その日の晩だけのあぶらを皿にくんでいました。ある雪の日、一平はお父さんからあぶらくみを頼まれました。

あぶらくみを頼まれた一平は、なべいっぱいにあぶらを入れました。そのあぶらを一平はどんな気持ちで竹やぶにかくしたのでしょうか。(三名程度指名する 時間は七分)

【児童A】 一度にたくさん採れて楽しかった。

【児童B】 これで何度もくみにこなくていいし、誰も見

ていないからいいだろう。

【教師】 お父さんは一平に、「あぶらはその晩使う分しかくんでこない約束になっている。」と話しましたね、この約束とは村の人たち全員約束とということです。一平はその約束を忘れてしまったのでしょうか。（家でのお父さんと一平の会話から、その晩使う分だけしかくまない約束になっていることを押さえる）

【児童C】 村の約束だけど、自分一人くらいたくさんくんでも分らないだろう。

【児童D】 雪がこんなに降っているし寒いから、約束を破ってもいいかな。

【教師】 一平はこのような気持ちから、村の約束を破って、一度にたくさんあぶらをくんで竹やぶにかくしたのですね。ある日、一平があぶらをたくさんくんできたところを、となりのじいさまに見つかってしまいました。そしてじいさまもなべにあぶらをくんでしまいます。

（挿絵を提示する） そのじいさまの姿を見たらあさまもまた、なべにたくさんあぶらをくみました。（挿絵を提示する）

じいさまやばあさまは、どんな気持ちからなべいっぱいのあぶらを入れて帰ったのでしょうか。

（三名程度指名する 時間は七分）

【児童E】 だまっていけば分からない。やっているのは自分だけではない。

【児童F】 約束だからたくさんくんではいけないと思っただけれど、みんなが採っているからつい採ってしまった。

【児童G】 他の人もたくさんくんではいるのに、自分だけ約束を守るなんてばかばかしい。

【教師】 じいさまもばあさまも、あぶらをたくさん採ることについて、「他の人もやっている」とか、「自分だけ村の約束を守るのはばかばかしい」と思ったことで、一平と同じようにあぶらをなべにくんだのですね。このように一平をはじめ、じいさま、ばあさままであぶらをたくさんくむようになりましたが、みんなが一度にたくさん採ると、あぶら山からあぶらが出なくなるとは思わなかったのでしょうか。じいさまは、一平がなべにあぶらをく

んでいるのを見たとき、「あぶら山のあぶらがなくなったらどうする。」と言い、あぶら山のあぶらがなくなるかもしれないと思っていましたね。

〈考えるに足る発問〉

一平、じいさま、ばあさまの三人の行動について、あなたはどのように思いますか。(時間は一五分)

【児童H】 ぼくは一平がよくないと思います。

【教師】 なぜ一平がよくないと思うのですか。

【児童H】 はじめにたくさん採ったからです。

【児童I】 私は、じいさまもばあさまもあぶらをたくさん採ったのだから悪いと思います。

【教師】 一平も、じいさまもばあさまもよくないという意見が出ました。では、誰の行動のどこがいけなかったのかについて考えましょう。まず、一平か、じいさまか、ばあさまか、誰の行動について考えるかを決めてください。決まったら、その人の行動についてあなたはどのように思うか、ワークシートの一つ星(★)の枠に書きましょう。

(ワークシートに記入する時間は三分)

【教師】 それでは、これから自分の考えや友達の考えについて隣りの人と話し合います。話し合う方法について説明します。まずはじめに、一人の人が、一平、じいさまとばあさまの誰の行動について考えたのかを言った後に、自分の考えを発表します。隣の人は、発表した人に対して、「私も同じ考えでくと思う。」「○○さんの発表からくということも考えた。」「くという考えと違って。」など、発表した人に自分の考えを話してください。次に今度は隣の人が自分の意見を言います。その意見に対して隣りの人は、自分の考えを伝えます。では始めましょう。(進行状況を把握する)

今度は、前後の人と話し合います。まず前の席の人から自分の考えを発表します。

〈話し合いの様子〉

発表者…私は一平について考えました。一平は、たくさんあぶらを採るとなくなってしまうと思っていないことが間違っていると思います。

意見…一平は、たくさん採ってはいけないということ分かっている、じいさんにも採るようにす

めたと思います。無責任だと思います。

【教師】 終了です。自分の考えに友達からどのような意見がありましたか。友達の意見を聞いて、「なるほど」と思ったり、新しく考えたりしたことがあるかもしれませんね。では。ワークシートの二つ星(★★)の枠に、話し合いからもっと考えたことを書きましょう。(時間は三分)

【教師】 では、どのような話し合いをしたのか、教えてください。ください。

【児童J】 私は一平が村の約束と分かっているはじめて破ったことは悪いと思います。

【児童K】 ぼくは、じいさまの行動について考えました。始めに一平を見たとき、注意はしているけれど、もっと、やってはいけない心を強くもって、注意した方がよかったです。

【児童L】 私は一平の「あぶらはなくならない。」という言葉につられてたくさん採ってしまったじいさまは、村の約束を思い出した方がいいと思います。

【児童M】 私も村の約束であるし、たくさん採ってはだめだと思っていても、自分だけじゃないと思

って採ってしまった気持ちが分かります。でも、一人一人が約束を守らないと結局はみんなが困ることになるので、約束を守ることは大切だと思います。

【教師】 Kさんも話してくれましたが、一人一人が約束を守らなかったことから、あぶら山からは一滴のあぶらも出なくなってしまう、結局みんなが困ることになりましたね。

【教師】 みんなでよりよい生活を送るために大切なことは何だと思いますか。

【児童N】 約束を守ること。みんなのことを考えて生活することが大切だと思う。

【児童O】 「自分だけ」と思うことがよくないと思う。

### 三 学習のまとめをする。

#### (教師による説話)

#### 先生が小学生のころ経験した話

授業の始めに、身の回りにある約束やきまりをみなさんに聞きました。

「一人一人が自分で判断し、きまりを守るということが大切なんだ。」ということを今日は学習しました。(ワークシートは回収する)

〔小学校〕道徳科学習シート 二年

組

番

名前

★ あぶらを一度にたくさんとってしまった一平やじいさまやばあさまの行動について、あなたはどのように思いますか。

私は

について考えました。

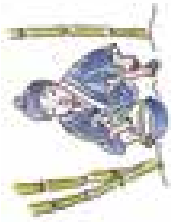
★★ グループでの話し合いから、考えたこと



# 「あぶら山」



なべいっばいにくんだあぶらを、一平はどんな気持ちで竹やぶにかくしたのでしょうか。

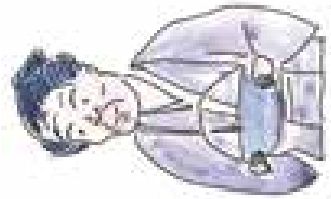


- ・なんどもくみに行かなくていいから楽だ。
- ・村の約束だけど、自分一人くらいはいいだろう。
- ・雪がふって寒いから約束をやぶつてもしかたない。

じいさまやばあさまは、どんな気持ちからなべいっばいのあぶらを入れて帰ったのでしょうか。



- ・たくさんとっているのは自分だけではない。
- ・みんながとっているからついついってしまった。
- ・ほかの人もくんでいるのだからいいだろう。

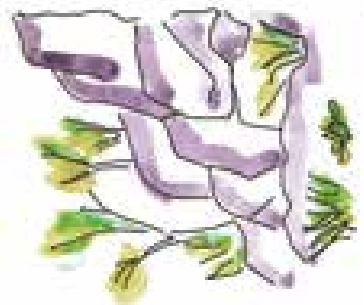


あぶら山のあぶらがなくなったのは、だれに問題があるのでしょうか。あなたはその人についてどのように思いますか。

- 〈一平〉 ・約束と分かっていてとつたのは悪い。
- 〈じいさま〉 ・一平にやってはいけないと、強く注意すればよかった。
- ・「あぶらはなくなならない。」ということばにつられたけれど、自分で考えるべきだった。
- ・「自分だけじゃない。」と思つて気がゆるんだ。
- 〈ばあさま〉 ・みんながやっているからといつてたくさんとることはよくない。
- ・一平やしいきまだけずるい。自分もやっつていいと思つた。

みんなでよりよい生活を送るために大切なこと

- 人につられてやっつてはいけない。自分で考えることが大切だ。
- 約束を守る。みんなのことを考えて生活する。
- 「自分だけ」と思うのはよくない。



※読み物教材は省略